

4. 分野別検討 ; かおり環境分野について

かおり環境分野における街作りは、現在ある臭気に関する問題を解決するものというよりも、より快適なかおり環境を積極的に設計・創造していくものである。本検討においては、街の住民の感覚・感性とマッチした積極的なかおりの活用アイデアを採用し、清涼感や心安らぐような空間や、季節感を感じられるような空間、地域に即した伝統のかおり風景を活かす空間を設計・創造するための考え方やツール、手法等を整理した。

4.1. 「かおり設計」の定義と対象

4.1.1. 定義

「かおり設計」とは、「街作り」の中に、地域の状況（社会的状況及び自然環境）に応じたかおり環境を活かすため、必要な具体的なかおり要素の選定、配置、設置の方法等の諸点を設計することである。

4.1.2. 対象

対象となる空間については室内空間を含まず屋外空間を中心に考える。またかおり要素としては、自然のかおり（樹木・草花、潮風、土等）を中心に、地域の文化・歴史や生活とかかわりのある伝統的なかおり（温泉、墨、線香等）等も含むものとする。

4.1.3. 街の「かおり設計」の意義

「かおり」はより快適でうるおいやゆとりのある街作り（空間づくり）ができる重要な環境要素のひとつといえる。今後の街作りにおいては都市住民の生活の質と広域を含む環境への影響の両面を配慮することが重要であるが、そのためには嗅覚（かおり）に着目した新たな視点を都市更新に盛り込むことも重要である。

源氏物語にも登場する六種の薫物（むくさのたきもの）（ 1 ）等にも見られるように、日本では古来より、橘、梅等のかおりを通じて四季の彩りを感じるといった豊かな感受性を持った文化が醸成されてきた。また、近年では、植物のかおりは、ハーブの利用やガーデニング等の形で広く社会に浸透してきている。一方、高度情報社会の進展に伴い五感による直接体験が減り、多くのものがバーチャル化するなかで、五感による直接体験を活かした青少年教育の重要性が指摘されており（ 2 ）、経済社会のストレスにさらされる成人に対しても、医学的見地からかおりを活用した臨床応用事例（ 3 ）が見られている。

世界的に見るとキンモクセイの香りで有名な桂林（中国）等の例はあるものの、一

般的には他の感覚環境に比べて「街作り」の要素として「かおり」を取り入れている事例は少ないが、より快適でうるおいやゆとりのある街作りの要素として活用が望まれている。「かおり」に身近で触れることで、地域の歴史、文化、時間や季節のうつろい、にぎわい、自然の営み等を感じることができる。また、「かおり」それ自体の効能として、リラックス効果、ストレス緩和、疲労軽減、精神集中等の効果が得られる。さらに、街路樹整備が都市におけるCO₂吸収源を生み出すといった副次的な効果等も期待できる。

1；六種の薫物（むくさのたきもの）

平安時代に薫物として用いられた薫香の中で、代表的な「黒方（くろぼう）」「梅花（ばいか）」「荷葉（かよう）」「侍従（じじゅう）」「菊花（きっか）」「落葉（おちば）」の6種類の薫香を特に「六種の薫物（むくさのたきもの）」と呼び、そのうち「黒方」「梅花」「荷葉」「侍従」の4種類が源氏物語に登場している。これらは以下に示すよう四季それぞれのイメージを表現している。

- 黒方（くろぼう）：フォーマルな処方。冬、慶事。
- 梅花（ばいか）：梅の香りをイメージした処方。春。
- 荷葉（かよう）：蓮の香りをイメージした処方。夏。
- 侍従（じじゅう）：秋風をイメージした処方。秋。拾遺（しゅうい）とも呼ばれた。
- 菊花（きっか）：菊の香りをイメージした処方。秋～冬。
- 落葉（おちば）：菊花の処方の麝香や沈香を増量したもの。秋～冬。

2；中央教育委員会「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について（中間まとめ）」では、青少年の成長過程全体にわたって心と体の相伴った成長を促す意義として、以下のような点を記述している。

【身体、心情と知性の相互作用】

青少年期には、身体機能とともに情緒面や知的能力がそれぞれ発達し統合されていく。この時期には、自分の身体を動かし五感を駆使していく中で様々な発見や学習をしたり、達成感や満足感を得たり喜びや悔しさを感じたりするとともに、こうした経験が新たな興味・関心を引き起こす等、身体、心情と知性が相互作用を起こしながら発達していく。このため、青少年が活力を蓄え、意欲を発揮し自立に向けて成長していくためには、心と体の相伴った成長を促すことが極めて重要である。

3；香りの臨床応用事例

香りの臨床応用事例として、うつ病の患者に対する香りの適用等も行われている。うつ病の入院患者の病室に柑橘系香料の香りを漂わせたところ、抗うつ薬の投与量が半分以下に減量でき、うつ病の指標であるハミルトン評価尺度の点数も正常値にまで回復できたこと、香りの使用前には異常低値あるいは異常高値を示した尿中コルチゾルのほか免疫機能の指標であるCD4/8、NK細胞活性等も正常値の範囲へ移行したこと、等が報告されている（脳と精神の医学，Vol16，No.2，pp199-202，1995）。

（引用出典）

「BIOENGINEERING NEWS」日本機械学会 バイオエンジニアリング部門 NO.26 SUMMER，1998 / 『2.1 ストレスと香り』(株)資生堂ビューティーサイエンス研究所 小泉祐貴子

4.2. 街作りへの「かおり設計」の導入

街路樹（沿道にならぶキンモクセイ等）や公園内の花木草のように、街に点在するかおり要素（樹木・草花）を用いて街の「かおりによる個性」を演出するためには、地域・街区にあった「かおり設計」を導入する機会を多方面から捕らえるよう努める必要がある。ただし、導入に当たってはかおり環境の押しつけとならないよう注意することが重要である。かおりは、一瞬かおるのが奥ゆかしく、常にかおるのは鼻につく場合があるので、かおりの強さや時期が限られる自然のかおりを中心とした「かおり設計」が望ましい。その為、人工的なかおりを追加していくという発想ではなく、むしろ地域にもともと存在する自然のかおりに気づく機会を増やすとともに、このような機会を契機に、地域固有の価値を再発見していことが重要である。なお、かおり設計を導入する機会としては、具体的には、以下のような場面が考えられる。

4.2.1. 再開発等での導入

再開発等における都市整備の契機を捉えて、従来不十分であった「かおり設計」を導入することにより、地区のかおりを用いたイメージづくりを行う。この際、地域の固有のかおりが自然に感じられる配慮を行うことで、従前からの住民のみならず、再開発後の新しい住民にとっても、地域固有のイメージが共有されることが望まれる。

- ・ 時期；再開発等における都市整備と同時期に集中的に実施する。
- ・ スケール；再開発等の単位である街区レベルを想定する。
- ・ 機会；再開発等における都市整備の契機を捉える。
- ・ 手段；再開発等の基本計画段階からかおりの専門家の参加によりかおり設計を組み入れる。

4.2.2. 学校等での導入

学校や公園の花壇、道路の街路樹、生垣等の整備の機会を活用し、「かおり設計」を導入することにより、地区のかおりを用いたイメージづくりを行う。この際、子供たちが地域の固有のかおりを身近に感じることを通じて、住んでいる地域固有の価値に気づき、地域への愛着が自然に感じられるような取組を行うことや、よいかおり環境を心地よいと感じるための感受性を子どもの頃から育てるような体験を豊かに広げていくことが重要である。

- ・ 時期；経年的な学校等の緑化整備にあわせて継続的に実施する。
- ・ スケール；花壇、街路樹、生垣等、ピンポイント的な対応を実施する。
- ・ 機会；学校や公園の花壇、道路の街路樹、生垣等の整備の機会を活用する。
- ・ 手段；地域にかおりの専門家を派遣し、花壇等の整備主体にアドバイスを実施する。

4.2.3. 商店街や自治会の地域緑化の活動への導入

商店街や自治会の地域緑化の活動を捉えて、「かおり設計」を導入することにより、地区のかおりを用いたイメージづくりを行う。街の維持管理に積極的に係わる機会を通じて地域の固有のかおりを感じることで、住民自らが地域固有の価値を再発見する機会を日常的に得られることが重要である。

- ・ 時期；経年的な地域の緑化活動にあわせて継続的に実施する。
- ・ スケール；店先の花壇や生垣等、ピンポイント的な対応を実施する。
- ・ 機会；商店街や自治会の地域緑化の活動の機会を活用する。
- ・ 手段；地域緑化の活動主体の中に、かおり設計の専門家を育成する。

4.2.4. 町おこしの一手段としての導入

地域の町おこしの機会を捉えて、「かおり設計」を導入することにより、地区のかおりを用いたイメージづくりを行う。街作りに積極的に係わる機会を通じて地域の固有のかおりを感じることは、住民が地域固有の価値を捉えなおす絶好の機会となる。

- ・ 時期；町おこしの実行に合わせて実施する。
- ・ スケール；町おこしの取組内容に応じて変化する。
- ・ 機会；地域の町おこしの機会を活用する。
- ・ 手段；町おこしのテーマ設定の段階からかおりの専門家の参加によりかおり設計を組み入れる。

4.3. 「かおり設計」の方法

ここでは、それぞれの場所や地域に応じた街のかおり設計に用いることができるデザインツール(かおり要素)を整理する。また、地域性や自然のリズムとかおりは密接な関係性があるため場所、季節や時刻に応じたデザインツール利用の技術的事項や留意点について述べる。

4.3.1. 設計で利用できるデザインツール

(1) デザインツール活用の考え方

設計に利用できるデザインツール(かおり要素)としては、「自然のかおり」と「文化・生活のかおり」に大別できる。

自然のかおりのうち、植物を用いる場合には、生育期間や開花時期が限られているため、単一の植物を用いることでは年を通じたかおりの創出を行うことが困難である。しかしながら、開花時期が異なる複数の植物を配置することで、年間を通じて様々な植物のかおりが楽しめるように設計を行ったり、他方で、植物の特性を活かし、その一時をイベント的に楽しんだり一時しか存在しないかおりを嗅ぐことで季節のうつろいや愛おしさを感じることを狙う等の設計も可能である。

また、文化・生活のかおりでは、各地域に特徴のある文化や生活から生み出される味わい深いかおりを通じて「にぎわい」「歴史」「文化」「地域の個性」といった要素を再発見し、地域への愛着を深めていくといった効果が期待される。

これらのツールはかおり設計の目的に応じて選択する。以下に効用の目的別に利用できる「デザインツール」について述べる。地域の自然特性や社会特性に応じたかおり要素を選択することで街の個性を強調したり、新たにかおり風景を創造したりする等、「かおり設計」を街作りのアクセントとして活用する。

(2) かおり要素の適用事例

以下に「かおり設計」に利用できるかおりの要素の適用事例を示す。

1) 新たな個性の創出

新たな個性を創出するかおり要素の適用事例を表 4-1 に示す。

表 4-1. 新たな個性を創出するかおり要素

目的	かおり要素(事例)
地域の個性を作る	ヒノキ(木曾ヒノキ・長野県)、リンゴ(長野県飯田市)、キンモクセイ(中国桂林)、ライラック(北海道札幌市)、バラ(岐阜県)等の植物のかおり、潮のかおり 露天(うなぎの蒲焼)、古書店街(神田)、駄菓子屋街()

() 川越の菓子屋横丁

長さ 80m の菓子屋横丁の商店街には、ハッカ飴、駄菓子、焼き団子のかおりが漂っている。明治の初めから駄菓子を製造している菓子屋横丁は、川越を代表する観光スポットの一つであり、石畳や茶色の電柱等景観に配慮している。

所在地 ; 埼玉県川越市
かおりの源 ; ハッカ飴、駄菓子、だんご
季節 ; 一年中



図 4-1. 川越の菓子屋横丁

2) 時間や季節を感じる

時間や季節を感じるかおり要素の適用事例を表 4-2 に示す。

表 4-2. 時間や季節を感じるかおり要素

目的	かおり要素(事例)
時間を感じる	エンジェルストランペット(夜に香る)等植物のかおり 朝市(輪島)、ろうそく
季節を感じる	ジンチョウゲ、キンモクセイ等植物のかおり 果実(モモ(桃源郷・和歌山県)、リンゴ(飯田リンゴ並木・長野県)、ブドウ(勝沼、一宮・山梨県))のかおり 茶葉を蒸すかおり、鮎を焼くかおり、酒造のかおり、山焼きのかおり、焚火のかおり()

() 須賀川牡丹園の牡丹焚火

樹齢 200 年以上の古木牡丹 290 種 7,000 株が咲き、かおりが園内に広がる。また、天寿を全うした牡丹の枯木を供養する「牡丹焚火」で、ほのかなかおりが漂う。俳句歳時記の季語にもなっている牡丹焚火は、年中行事となっている。国指定名勝に指定されている。

所在地 ; 福島県須賀川市
かおりの源 ; 赤松、牡丹、枯死した牡丹古木の焚き火
季節 ; 11 月第 3 土曜日



図 4-2. 須賀川牡丹園の牡丹焚火

3) 歴史や文化を生かす

歴史や文化を生かすかおり要素の適用事例を表 4-3 に示す。

表 4-3. 歴史や文化を生かすかおり要素

目的	かおり要素(事例)
歴史を感じる	ウメ(太宰府天満宮・福岡県)、スギ(比叡山延暦寺・和歌山県)、フジ(山崎大歳神社・兵庫県)等植物のかおり
	製材所・貯木所の木(新木場)、和漢薬(富山)
文化を感じる	スギ(羽黒山南谷・山形県)等植物のかおり
	お線香()、墨、井草・畳、おしろい、びん付け油

() 法善寺の線香

苔むして独特の雰囲気をもつ水掛け不動には、いつも線香の煙が絶えず、立ちこめた線香のかおりが、小料理屋、居酒屋等が軒を連ねる横丁にも漂っている。1637(寛永 14)年創建の法善寺は空襲で本堂を焼失したが、戦後、西向不動明王(水掛け不動)と金比羅堂が再建された。大阪ミナミの土地柄もあり、商売繁盛祈願の参拝者がいつも絶えない。また、昔ながらの浪速情緒漂う法善寺横丁に訪れる者は多い。

所在地 ; 大阪府大阪市
かおりの源 ; 線香
季節 ; 一年中



図 4-3. 法善寺の線香

4) 観光資源を生かす

観光資源を生かすかおり要素の適用事例を表 4-4 に示す。

表 4-4. 観光資源を生かすかおり要素

目的	かおり要素(事例)
地域を感じる	ミカン(愛媛県)、ラベンダー(北海道)、シバザクラ(北海道、埼玉県)、屋久杉(鹿児島県)、香の芝生[ローマンカモミール](兵庫県)等植物のかおり 梅や藤等名所の花のかおり、
	にかわ(郡山)、せんべい(草加)、温泉の硫黄()

() 草津温泉「湯畑」の湯けむり

町の広い範囲に渡って薬効の強い温泉からでる硫黄のにおいが漂っている。自然湧出量は日本随一である。町の中心部に位置する「湯畑」は、湯の町草津のシンボルでもある。

所在地 ; 群馬県草津町
かおりの源 ; 硫黄
季節 ; 一年中



図 4-4. 草津温泉「湯畑」の湯けむり

5) 植物の効能の活用

観光資源を活用するかおり要素の適用事例を表 4-5 に示す。

表 4-5. 植物の効能を活用するかおり要素

目的	かおり要素(事例)
沈静作用	ヒノキ、ユーカリ、ジャスミン等
ストレス・疲労軽減作用	ラベンダー、サンダルウッド、カモミール、イランイラン、ネロリ等
覚醒・作業能率向上作用	レモン、ローズマリー、ペパーミント、ユーカリ、シトロネラ、カヤプテ、サルビア、タイム、クローブ等

(3) 自然のかおりを利用したかおり設計

自然のかおりを利用する場合は、樹木の特性を利用して、自然のかおりを生かすことが重要である。

表 4-6. 比較的に入手しやすいかおりの樹木一覧

針葉樹中・高木(植栽適期は2月~4月)

番号	樹種	香る部位	香り強弱	香る状況
1	アリゾニカ ブルーアイス	葉	弱	さわる
2	マクロカルバ ゴールドクレスト	葉	中、弱	さわる
3	シネシシス スパルタン	葉	弱	もむ
4	スコプロールム ブルーヘブン	葉	弱	もむ
5	ブンゲンス ホープシー	葉	弱	もむ
6	オクキデンタリス ヨーロッパゴールド	葉	弱	さわる
7	オクキデンタリス スマラグ	葉	弱	さわる
8	オクキデンタリス グリーンコーン	葉	弱	さわる
9	ニオイヒバ	葉	弱	さわる
10	カヤ	実、葉	弱	もむ
11	ヒノキ	葉	弱	もむ
12	スギ	葉	弱	もむ

常緑広葉中・高木(植栽適期は3月~6月)

番号	樹種	香る部位	香り強弱	香る状況
1	サザンカ	花	弱	平常
2	クスノキ	葉、幹	強	もむ
3	ユズ	花、実	中	もむ
4	ミカン	花、実	強	平常
5	フェジョア	花、実	中	もむ
6	キンカン	花、実	強	花:平常 実:もむ
7	ゲッケイジュ	葉、幹	強	葉:さわる 幹:もむ
8	ネズミモチ	花	中	平常
9	ホソバタイサンボク	花	強	平常
10	カラタネオガタマ	花	特強	平常
11	ギンモクセイ	花	中	平常
12	キンモクセイ	花	特強	平常
13	ヒイラギモクセイ	花	中	平常
14	ヒイラギ	花	弱	平常

落葉広葉中・高木（植栽適期は2月～3月）

番号	樹種	香る部位	香り強弱	香る状況
1	カツラ	葉	中	平常
2	カリン	実	中	平常
3	ロウバイ	花	中	平常
4	リョウブ	花	微弱	平常
5	アメリカリョウブ	花	弱	平常
6	エニシダ	花	微弱	平常
7	アオダモ	花	弱	平常
8	クロモジ	葉、幹	中	もむ
9	コブシ	花	微弱	平常
10	ワダスメモリー	花	弱	平常
11	シデコブシ	花	弱	平常
12	ハクモクレン	花	弱	平常
13	シモクレン	花	微弱	平常
14	ニシキモクレン	花	微弱	平常
15	オオヤマレンゲ	花	中	平常
16	ウケザキオオヤマレンゲ	花	中	平常
17	リンゴ	花、実	弱	平常
18	アンズ	花、実	微弱	平常
19	ウメ	花	中	平常
20	モモ	花、実	微弱	平常
21	スモモ	花	微弱	平常
22	ソメイヨシノ	花	微弱	平常
23	オオシマザクラ	花	強	平常
24	スルガダイニオイ	花	強	平常
25	シズカ	花	強	平常
26	エゴノキ	花	微弱	平常
27	アカバナエゴノキ	花	微弱	平常
28	ライラック	花	強	平常
29	シナノキ	花	微弱	平常
30	ボダイジュ	花	弱	平常
31	サンショウ	葉	強	もむ

針葉樹低木（植栽適期は2月～4月）

番号	樹種	香る部位	香り強弱	香る状況
1	ブンゲンス グラウカ グロボーサ	葉	弱	もむ
2	オクキデンタリス ダニカ	葉	弱	さわる
3	オクキデンタリス ゴールデングローブ	葉	弱	さわる

常緑広葉低木（植栽適期は3月～6月）

番号	樹種	香る部位	香り強弱	香る状況
1	アベリア	花	微弱	平常
2	ニオイバンマツリ	花	中	平常
3	デンチョウゲ	花	特強	平常
4	クチナシ	花	強	平常
5	オオヤエクチナシ	花	特強	平常
6	キソケイ	花	中	平常
7	ラベンダー	花、葉、幹	特強	平常
8	ヒイラギナンテン	花	弱	平常
9	ヒイラギナンテン チャリティ	花	弱	平常
10	トベラ	花	中	平常

番号	樹種	香る部位	香り強弱	香る状況
11	シャリンバイ	花	弱	平常
12	シャクナゲ	花	弱	平常
13	ローズマリー	花、葉、幹	特強	平常
14	サルココッカ	花	中	平常
15	ミヤマシキミ	花	微弱	平常
16	チャ	花	弱	平常

落葉広葉低木（植栽適期は2月～3月）

番号	樹種	香る部位	香り強弱	香る状況
1	ブッドレア	花	弱	平常
2	メギ	花	微弱	平常
3	ボケ	実	弱	平常
4	ニオイトサミズキ	花	弱	平常
5	ヒメウツギ	花	微弱	平常
6	ミツマタ	花	微弱	平常
7	ミツマタ赤花	花	微弱	平常
8	エクスバリーアザレア	花	弱	平常
9	エゾムラサキツツジ	花	弱	平常
10	モッコウバラ	花	弱	平常
11	キモッコウバラ	花	微弱	平常
12	ハマナス	花	弱	平常
13	バラ（ブルームーン：紫）	花	強	平常
14	バラ（ブルーリバー：紫）	花	強	平常
15	バラ（ミスターリンカーン：濃赤）	花	強	平常
16	バラ（オクラホマ：濃赤）	花	強	平常
17	バラ（ホワイトクリスマス：白）	花	強	平常
18	ガマズミ	花	中	平常
19	ミヤマガマズミ	花	中	平常

つる性類（植栽適期：常緑は3月～6月、落葉は2月～3月）

番号	樹種	香る部位	香り強弱	香る状況
1	アケビ	花	中	平常
2	クレマチス アーマンディー	花	強	平常
3	サネカズラ	花	中	平常
4	スイカズラ	花	中	平常
5	ツキヌキニドウ	花	弱	平常
6	ムベ	花	弱	平常
7	テイカカズラ	花	中	平常
8	フジ	花	中	平常

<記載事項>

（注）かおる部位：花、実、葉、幹。

（注）かおりの強弱

特に強い：5m以上離れてかおる。

強い：2～3m離れてかおる。

中位：1mぐらい離れてかおる。

弱い：30cmぐらい離れてかおる。

微弱：鼻を近づけるとかおる。

（注）かおる状況

平常：花等、自然の状態の中をかおる。

さわる：葉、根、幹等手を触れるとかおる。

もむ：葉、根、幹等をもみ、組織を傷めるとかおる。

出典）社団法人 日本植木協会資料

4.3.2. 「かおりツール」を用いた設計の技術的事項

場所や地域に応じた街のかおり設計を考えるために、かおり環境形成の視点から各用途区分 / 地域区分 / 時間区分における技術的事項を整理する。

(1) 用途区分

対象となる場所の用途に応じて、かおりの色分けを行い、スケール・範囲(以下「かおりブロック」という)を考慮する。

例) 住宅地、商店街、オフィス街、道路、公園・広場、学校等

(2) 地域区分

植生・気候；地域の植生区分や気候区分に合った植物の選定等に考慮する。

地理特性；自然の地理条件を踏まえたかおりに考慮する。

例) 海沿では汐のかおりと山間部では山のかおり

地域特性；適用する場所の特性や地域の文化を踏まえたかおりの選定に考慮する。

(3) 季節・時間区分

季節；演出したい季節に咲く植物や、その季節を印象づけるかおりの選定等に考慮する。

例) 正月に初詣でにぎわう神社の境内に冬に咲くかおり植物を配置

時間；演出したい時刻に咲く植物や、その時間帯を印象づけるかおりの選定等に考慮する。

例) 散歩や通勤・通学によく利用される街路に朝咲く花(朝顔等)を配置

例) 夕刻に買い物でにぎわう商店街に、食欲をそそるかおりを配置

表 4-7. かおり植物リスト(芳香時期/部位)

【樹木】

植物種	分類	芳香時期(月)	部位	備考
テイカカズラ	常緑つる性	5~6	花	
オガタマノキ	常緑高木	2~4	花	
クスノキ	常緑高木	一年中	葉、枝、幹	
ゲッケイジュ	常緑高木	一年中	葉	
サカキ	常緑高木	一年中	葉	
スギ	常緑高木	一年中	葉、幹	
スダジイ	常緑高木	5~6	花	
ニオイヒバ	常緑高木	一年中	葉	
ヒノキ	常緑高木	一年中	葉、幹	
フサアカシア(ミモザ)	常緑高木	2~4	花	
ヤブニッケイ	常緑高木		葉	

植物種	分類	芳香時期(月)	部位	備考
キンモクセイ	常緑小高木	9~10	花	
シキミ	常緑小高木	3~4(花)、 10(実)	葉、枝、花、 実	全木有毒で果実はとくに毒性 が強い
ツバキ類	常緑小高木		花	
ユズ	常緑小高木	5~6(花)、8(実)	花、実	
セージ	常緑小低木	一年中	葉	
ヘリオトロープ	常緑小低木	4~9	花	気温 18 くらいで湿気のある 日に芳香が強くなる
ラベンダー	常緑小低木	5~9	花	
アセビ	常緑低木	3~5	花	枝葉に「アセボチン」という 有毒成分を含む
ギンバイカ(スイートマ ートル)	常緑低木	5~6(花)	葉、花	
クチナシ(カーデニア)	常緑低木	6~7	花	
コーヒーク	常緑低木	夏-秋	花	
シャリンバイ	常緑低木	5	花	
ジンチョウゲ	常緑低木	3~4	花	花や根に有毒成分を含む
チャノキ	常緑低木	10~11	花	
トベラ	常緑低木	4~6	花	
パンマツリ	常緑低木	11~2	花	有毒成分を含む
ヒイラギ	常緑低木	10~11	花	
ヒイラギナンテン	常緑低木	3~4	花	
レモン	常緑低木	6(花)	花、葉、実	
エンジェルストランペ ット	低木~小高木	6~9	花	夕方に花が開く
バラ類	半常緑・落葉低 木	5~6、 9~10	花	
アベリア	半常緑低木	5~11	花	夜になるとにおいが強くなる
イチョウ	落葉高木	9	実	においはかなりきつく、嫌う 人が多い
エゴノキ	落葉高木	5~6	花	
エンジュ	落葉高木	7~8(花)	花・内樹皮	
カツラ	落葉高木	秋	落葉	
クリ	落葉高木	6~7	花	
コブシ	落葉高木	3~5	花	
サクラ類	落葉高木	3~4	花、葉	
シナノキ	落葉高木	6~7	花	
センダン	落葉高木	5~6	花	
タイサンボク	落葉高木	5~6	花	朝、晩、曇りの日によくかお る
ニセアカシア	落葉高木	5~6	花	
ネムノキ	落葉高木	6~7	花	日が落ちる直前に花が開く
ハシドイ	落葉高木	6~7	花	
ホオノキ	落葉高木	5~6(花)、 春-秋(葉)	花、葉	
ウメ	落葉小高木	2~3	花	
クサギ	落葉小高木	8~9(花)	花、葉	
ゴンズイ	落葉小高木	春-秋	葉、枝	
タムシバ	落葉小高木	4~5(花)	花、葉	
マンサク	落葉小高木	2~3	花	
ライラック(リラ)	落葉小高木	4~6	花	
エニシダ	落葉低木	5~6	花	若枝や葉は有毒である

植物種	分類	芳香時期(月)	部位	備考
カラタチ	落葉低木	4~5(花) 10(実)	花、実	
クロモジ	落葉低木	一年中	樹皮	
サンショウ	落葉低木	春-秋(葉) 9(実)	葉、実	
シデコブシ	落葉低木	3~4	花	
バイカウツギ	落葉低木	5~6	花	
ハマナス	落葉低木	6~7	花	
ブッドレア	落葉低木	7~10	花	
ボタン	落葉低木	4~5	花	
ミツマタ	落葉低木	3~4	花	
ムラサキシキブ	落葉低木	6~7	花	
ムレスズメ	落葉低木	4~6	花	
ロウバイ	落葉低木	1~2	花	

【草】

植物種	分類	芳香時期(月)	部位	備考
オシロイバナ	一年草	7~10	花	夕方に花が開く
シソ	一年草	8~10(花)	葉、花、実	
スイトピー	一年草	5~6	花	
ストック	一年草	春、秋	花	
トキンソウ	一年草		葉	
バジル	一年草、多年草		葉	
テイカカズラ	常緑つる性	5~6	花	
ムベ	常緑つる性	4~5	花	
ジャスミン(ソケイ)	常緑半つる性	7~11	花	まれに皮膚がかぶれる場合がある
ハゴロモジャスミン	常緑半つる性	3~5、7~9	花	
カキドオシ	多年草	一年中	茎、葉	
カーネーション	多年草	春-夏	花	現在の日本の園芸種にはカーネーション独特のかおりはほとんどない
キク	多年草	4~1	花	
クレソン	多年草	一年中	葉	水辺で生育
ゲッカビジン	多年草	6~9	花	夏又は秋の夜、8時頃から白い花が強いかおりを放って開きはじめ、2、3時間後にはしぼむ
コウボウ	多年草	春-秋	根	
ジンジャー	多年草	8~11(花)	葉、根、花	
スイセン	多年草	12~5	花	
スイレン類	多年草	6~8	花	
スズラン(ミュウゲ)	多年草	5~7	花	
ゼラニウム	多年草	4~11	花	
チューベローズ(月下香)	多年草	7~10	花	
ドクダミ	多年草	一年中	葉、茎	
ニオイスマレ(パイオレット)	多年草	2~3(花)	花	
ハス	多年草	7~8	花	早朝に芳香を放って開く。池で生育
ハマユウ	多年草	5~8	花	

植物種	分類	芳香時期(月)	部位	備考
ヒアシンズ	多年草	3~4	花	
フジバカマ	多年草	8~9	花	
フリージア	多年草	3~4	花	
ミント	多年草	一年中	葉	
ヤマユリ	多年草	6~8	花	
ヨモギ類	多年草	春-秋	葉	
ローズマリー	多年草	一年中	葉	
スイカズラ	半落葉つる性	5~6	花	
ノウゼンカズラ	落葉つる性	7~8(花)	花	
フジ	落葉つる性	4~7	花	有毒成分を含む
マタタビ	落葉つる性	6~7(花) 10(実)	花、茎、葉、 実	
クズ	落葉つる性草本	7~9	花	
マリーゴールド		6~11(花)	花、葉、茎	

出典)「かおり環境普及推進マニュアル」(環境庁大気保全局大気生活環境室、平成12年6月)

4.3.3. デザインツール利用に当たっての留意事項

(1) 選択の多様化

かおりに対する反応は、人によって差異があり、どんなにおいでも嫌う人がでてくる可能性がある。10割の人が好むかおりを設計することは難しいが、ある程度の割合の人々が快適と思う設計ができるよう、可能な限り多くのオプション、メニューを用意する工夫が求められる。具体的には、1つの「かおりブロック」内であっても、当該ブロックに関わる人が多い場合は種類、強度の選択に留意して、好み分散しない(無難な)かおりを選んだり、かおりが時間や期間、場所をとわずに存在することなく、かおりを嗅ぐことを避けられる時間、期間、場所の工夫を行ったりすること等が考えられる。

(2) 他の感覚環境要素との関連性配慮

かおり環境には、周辺の風景や鳥のさえずりといった五感的要素が密接に関わっており、良い風景や静けさという条件がそろって、かおりが楽しめる環境になる。住民が望むかおり環境イメージとは、花、みどり、海をはじめとする自然のかおりが、季節やその場所の状況にあわせて強すぎずほのかに漂うとともに、さらに自然の音や風景等の聴覚・視覚的要素が加わった五感に心地よい環境と感じている。そこで、街のかおり設計を考える際には、光、音、熱等の他の環境感覚要素との関連性に配慮する必要がある。

- 例) ・光; 照明を落とした時の方がお香のかおりを意識しやすくなる 等
 ・音; 静かな環境では、木の香りを意識しやすくなる 等
 ・熱; かおりの木が作る日陰がヒートアイランド軽減効果につながる 等



図 4-5 . 他の感覚環境要素との関連性を配慮したかおり設計のイメージ

(3) ユニバーサルデザインの視点の導入

「かおり」はより快適でうるおいやゆとりのある街作り(空間づくり)ができる重要な環境要素のひとつといえる。今後の街作りにおいては都市住民の生活の質と広域を含む環境への影響の両面を配慮することが重要であるが、そのためには嗅覚(かおり)に着目した新たな視点を都市更新に盛り込むことも重要である。どのような立場、特性をもつ地域住民にとっても親しみやすいような環境づくりを目指すため、ユニバーサルデザインの視点を盛り込む。

；ユニバーサルデザインを導入した公園づくりの例

- ・ ニューヨーク・ブルックリン植物園 Fragrance Garden for the Blind (1955, 700m²)
 - ・ 奈良県高市郡高取町 壺坂寺匂いの花園(昭和 38、約 2,000m²)
 - ・ 福岡市西区、今津福祉村 かおりの園(昭和 49、1,340m²)
- 出典；「環境緑地 植栽の理論と技術」新田伸三/鹿島出版会

(4) 維持管理への配慮

導入後、「かおり」をどのように維持管理していくかを考慮して設計する。市民参加による維持管理が行われるような仕組みや体制づくりを検討する。また、管理する側のニーズにあわせた設計に留意する。

- 例)
- ・地域で活動する NGO/NPO や住民がかおりの樹木を管理する体制を整える
 - ・ホテルではある程度コストをかけても、見栄えのするかおりの樹木を配置
 - ・オフィスでは管理の手間があまりかからないかおりの樹木を配置 等

(5) 複数のかおりを活用した対策

工場等の事業所から発生する悪臭を自然のかおりで覆い隠すため、かおりの木を工場周辺に集中的に配置する等、配慮して設計する。また、2種類の異なる「かおり」を配置する場合、片方のかおりにかき消されて、もう一方のかおりが分からなくならないよう留意する。

4.3.4. 「かおり設計」の事例

(1) 「かおりの街作り」企画コンテスト

自然のかおりを活用した実践例として、本年度環境省が実施した「かおりの街作り」企画コンテストが挙げられる。「かおりの街作り」企画コンテストでは地方公共団体を対象として、かおりの樹木等を用いた「かおりの街作り」の企画を募集した。

「かおりの街作り」は、現在ある問題を解決するものというよりは、より快適で環境を積極的に創造していくものであるため、街の住民の感覚・感性とマッチした積極的なかおり活用アイデアを採用していくことが重要となる。

以下に、「かおりの街作り」企画コンテストの概要及び優秀作品の概要を掲載する。

表 4-8 . 「かおりの街作り」企画コンテストの募集概要

趣旨目的 (概要)	良好なかおり環境により、清涼感や心安らぐような空間を、また、季節感を感じられるような空間を創出し、また、かおりの伝統を生かしたかおりの街作りを行う
対象となる企画	(1) 企画主体 地方公共団体(住民団体、NGO等との共同企画も可) (2) 企画の要件 「かおりの樹木」を250本程度以上(かおりの中高木100本程度以上)用い、街区等の「かおりの街作り」を演出する企画 (3) 企画評価の観点 本趣旨に合致しているかどうかを「企画のねらい(コンセプト)」、「アピールポイント」、「実行可能性」等の観点から総合的に評価。また、図や写真も評価のポイント。
募集主体	主催 環境省 共催 (社)におい・かおり環境協会、(社)日本アロマ環境協会 協力 (社)日本植木協会

(2) 海外事例；中国 桂林市

桂林市は中華人民共和国南部の広西壮族自治区北東部に位置し、珠江支流の漓江沿岸に開けた都市である。秋になると町中にキンモクセイ（桂花）が咲き乱れることから、この名が付けられたと言われており、市内には、約45万本のキンモクセイが植えられている。

桂林市は、典型的な亜熱帯気候に属し、加古川市、熊本市等と姉妹都市・友好都市となっている。特に、熊本市内の「香りの森」()では、気候特性が近いこともあり、桂林市を象徴する樹木であるキンモクセイを植えた「友好都市植栽ゾーン」が整備されている。

()面積；約4.1ha。キンモクセイやクスノキ、アラカシ等の高木約600本、ジンチョウゲ、アジサイ、コクチナシ等の低木約1万1,200本、ラベンダー、コモントタイム等7万6,000株余りが植えられ、様々な樹木や草花の香りを楽しみながら学習することができる。



図 4-7．桂林市の街並み

(財団法人 加古川市国際交流協会 HP より)

4.4. 街作りにおけるかおり環境対策を促進するための行政施策

4.4.1. 情報整備

(1) かおり情報の整備

かおり設計に用いることができる地域固有のかおりに関する情報等を整備し、地域や建物の状況に応じて柔軟な設計が行なえるよう、必要な知見集積を図る必要がある。

(2) 教材の整備

街作りにおけるかおり環境創造に関する概念及び、手順を明確にするための教材を整備することが重要である。教材はかおりの街作りに携わる各主体必携の教材としての位置づけとなるよう専門家の知見を結集して作成することが望ましい。また、整備した教材は、後に示すかおり設計の専門家の育成等に活用されること等が想定される。

4.4.2. 情報普及

(1) 情報提供システムの構築

前項で整備したかおり環境に係る知見が活かされるためには、それらの情報が、かおり設計に係る関係者に適切に行き届く必要がある。そのため、これら情報の提供システムを構築する必要がある。

(2) モデル事業の実施

よいかおり環境の創造とともに、地球温暖化対策の観点からも CO₂ 吸収量を増加できるような街のかおり設計を普及するために、モデル事業を行うことを行政は検討する必要がある。

(3) 小中学生への「かおり」環境教育の実施

よいかおり環境を創造し、維持していくためには、そこに暮らす住民等がその価値を認識していることが重要となってくる。そこで、よいかおり環境を心地よいと感じる感受性を子どもの頃から育てるような教育環境を整えていくことが必要である。そこで、学校での環境教育や、地域のイベントや活動で、かおりに関する正しい知識・感性を育てるかおり教育を実施するような場、様々なかおりに接することのできる場をつくるような仕掛けを行うこと等が考えられる。

(4) 「かおり設計」の考え方の普及・啓発

本年度実施した「かおりの街作り」企画コンテスト等を継続的に実施するとともに、優秀地域については表彰、HP等を利用した広報を行う。また、住民に広く周知し、住民が参加しやすいかおり設計のあり方を検討する。以下に今後の検討項目例を示す。

検討項目例；

- ・対象となるかおりツールの拡大（草花や歴史・文化のかおりの追加等）
- ・対象となる主体の拡大（学校、民間事業者の巻き込み等）
- ・維持管理の担い手としての地域住民との関係
- ・大学等専門研究機関との関係
- ・コンテスト浸透のための情報発信・PR 等

(5) かおりを学習・体験できる仕掛けづくり

かおり環境を感じるための感受性を育てるような体験を豊かに広げていくことが必要である。このため、においやかおりに関する正しい知識・感性を育てるにおい・かおり教育を実施するような教育の場の創出を促進するような環境整備について検討する。例えば、静岡県磐田市の「香り博物館」では、博物館に加えて「香りの公園」と歩いて香りを楽しめる散策路「香りの遊歩道」の3つを柱として整備が行われ、展示観賞を主体とした従来の博物館の概念から一歩抜け出し、五感を使った参加型の博物館を目指している。

表 4-9 . 主なかおりの博物館リスト

名称	所在地	かおりの源	詳細
彩の国 音かおりの里	埼玉県さいたま市西区水判土地内		この公園は、音・かおり環境を考えるためのモデル施設で、よい音やよい香りを感じることによって、身の回りで発生する騒音や悪臭を自分のこととして考えてもらおうというもの。園内には、普段気づかない音や香りを体験してもらうために、「聞き耳のイス」、「かおりの小径」、「ささやきの壁」、「音の架け橋」等の施設がある。また、季節の移ろいとともに様々な植物が花を咲かせ、甘い香りを漂わせる。
生田緑地	〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柘形7-1-1		タイサンボク、クチナシ等、香りのする花をつける植物が植えられている。樹はミズキ、ハンノキ、クワ、エゴノキ、マユミ、コナラが、虫は蝶、蛾、甲虫等が観察できる。 民家園脇のモミジ、岡本太郎美術館前のメタセコイア、噴水広場横のナンキンハゼ等、美しく紅葉する樹木がたくさんある。
松田山ハーブガーデン	〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領2951		松田山ハーブガーデンは、ラベンダー、セージ、ミント等181種類以上のハーブ畑が山の斜面に広がり、1年を通してハーブの香りが楽しめるようになっている。ハーブ館の建物は、著名な建築家高松伸氏の設計によるもので、南北に広がるハーブガーデンが見渡せる位置にある。外観は円筒形を基調に曲面を多用したユニークな形で、館内には、売店、工房、レストランが設けられている。ハーブをテーマにしたこの施設では、リースやポプリづくり等の工芸やハーブ料理も味わえ、香りの文化を体験できる。

名称	所在地	かおりの源	詳細
豊田香りの公園	静岡県磐田市立野 2017 - 3	キンモクセイ、ハーブ、フジ、サザンカ	香りの博物館では各花やハーブ等の香りの実体験や嗅覚の仕組み、かおりの歴史を紹介している。
磐田市香りの博物館	静岡県磐田市立野 2019-15		日本でも有数の香り専門の博物館。香炉や香箱等日本の香道具類のほか、香りに関連した世界の美術工芸品を中心に展示する。またパソコン診断で、来場者にピッタリの香りのレシピを出力し、そのレシピにそってオリジナルの香りを作ることができたりと、体験型のコーナーも多数そろそろ。古代エジプトの部屋や、沈水香の部屋等5種類の香りが体感できる「5つの香りの小部屋」もある。
伊豆一碧湖ホテル伊豆一碧湖香りの美術館	静岡県伊東市吉田 843-8	スズラン、ブーケ、グリーンノート等	アールデコ期を中心に紀元前から現代に至るまでの香水瓶約 500 点を展示。また、香りの原料や歴史上の人物の好んだ香りを体験できる等「香り」をあらゆる角度から楽しめる。
四国山香りの森公園	岐阜県山県市大桑 726-1		香りをテーマとした公園で、園内には約 30 種類 3,000 本以上の芳香樹木が植えられており、年間を通して様々な香りを楽しむことができる。 (香り会館) 香り会館は全国でもめずらしい“香り”をテーマにした体験型施設。季節のリースをはじめ、香水やバスエッセンスづくり等、いろいろな香り作りが気軽に体験できる。
博物館「酢の里」	愛知県半田市中村町 2-6	酢、酒	粕酢誕生の地である半田に開かれた、日本唯一のお酢の総合博物館。昔を偲ばせるたたずまいの中で、倉人たちが作りあげてきたお酢づくりの精神と技術、そして健康的な暮らしに役立つお酢に関する情報を様々な形で紹介している。
匂いの花園	奈良県高市郡高取町壺阪 3 番地	ラベンダー	視覚障害者が“におい”を楽しめるよう季節の花を集め、“ラベンダー”等の匂いが楽しめる花壇がある。
パルシェ香りの館	兵庫県淡路市尾崎 3025-1	ハーブ類	香りの情報発信基地として「香りの館」のほか、「香りの湯」「特産館」の三施設があり、様々な香りが訪れる人を歓迎してくれる。「パルシェ香りの館」のエントランスホールでは、世界の香りやその文化と歴史等が展示され、香りの予備知識が得られる。そのほかにも、ポプリを使ったブリーズづくりができる体験コーナーや数十種類のハーブが栽培されているハーブ体験農園、ハーブ料理を味わえるレストランがあり、訪れた人々は様々な香りとのふれあいを楽しんでいる。「パルシェ香りの湯」では、ラベンダーやローズマリーといった四季折々のハーブの香り、播磨灘の景色を展望できる露天風呂や、様々な香りの趣向を凝らした宿泊施設で、リラックスした時間を過ごすことができる。
兵庫県立淡路香りの公園	兵庫県淡路市多賀 530-1	セージ、オレガノ、ラベンダー等	香りをテーマにした公園で一年を通じて様々な香草香木が咲く。ハーブが 100 種、香木が 37 種植えられ、香りのオアシスとして親しまれている。また、ハーブや草木をテーマとしたイベントや体験教室等も開催されている。
シトラスパーク瀬戸田	広島県尾道市瀬戸田町萩 4985 番地	柑橘類	世界の柑橘類、約 600 品種を収集・展示する。シトラスパビリオン、香りの館等、柑橘類のことを楽しみながら学べるわが国初の柑橘公園。

4.4.3. 人材育成 ; かおり設計に関する専門家の育成

現状では、街作りのなかでかおり環境を設計していくための人材の育成体制が不十分であり、また人材がいたとしても活躍の場があまりないといった問題がある。街作りにおいてよりよいかおり環境を創造していくためには、都市更新の計画レベルや街のかおり創出にあたり、地域や街区のかおり環境についてデザインできるかおり環境の専門家が有すべき要件を明確化するとともに、そのような要件を満たす人材の養成と、そのような人材が活躍できるような社会の受け皿づくりが必要となる。

(1) かおり設計に関する専門家が備えるべき要件の明確化

「かおり設計に関する専門家」は、かおりを街作りに活用するために以下のような要件を備えるべきと考えられるため、このような要件の詳細を検討する。

かおりの特性やデザインツールそのものに関する知識（かおりの効用、生理的作用、悪臭についての概念、基準、対応策、デザインツールの技術的な活用方法等）
都市更新の計画レベルで地域や街区のかおり環境をデザインできる能力
他の環境要素（光、音、熱等）との整合に関する知見・デザイン能力

(2) かおり設計に関する専門家の育成

かおりやデザインツールに関する基礎知識等を持つ資格や育成プログラムの作成等について検討する。具体的には、かおり設計に関する専門家が必要な知識や能力を取得するために、「かおりデザイン講習」等の学びの場をつくることが考えられる。

(3) かおり設計に関する専門家の活躍の場の創出

かおり設計に関する専門家が街作りのなかで活躍できる場を創出するための行政支援のあり方について検討する。

4.4.4. 人材育成 ; 地域での人材育成

良いかおりを楽しむためにそれを阻害するにおいを減らしたり、良いかおりを積極的に創造していったりするためには、地域でかおりを守っていく気運を醸成することが必要である。その為、専門家の育成のみならず、地域のボランティア活動等と連動して、街のかおり状況を継続的に観察したり、管理する市民レベルの人材を育成し、良いかおり環境に資する街作り運動を展開するための普及啓発等について検討する。その際、専門家は検討すべき視点や項目等を想定し議論の幅を定め、具体的な展開については地域住民の中から選ばれた人材がイニシアチブを持って検討するといった役割分担が考えられる。

4.4.5. 地方公共団体の役割

地方公共団体の職員の良好なかおり環境作りについての理解を深めるために、地方公共団体への講習等の機会を設けるとともに、地方公共団体により、一層広範な普及啓発が行われることが望まれる。なお国内での自治体独自の取組としては、以下のようなものがある。

(1) 浜松市「音・かおり・光 環境創造事業」

音・かおり・光に関する良好な環境を創造するため、下記の条例を施行している。また、公募したマスコットキャラクターやロゴを使用し、条例の普及・啓発に活用している。

浜松市音・かおり・光環境創造条例（抜粋）

第1章 総則

（目的）

第1条 この条例は、人に潤いや安らぎを与えてくれる音・かおり・光資源を保全するとともに、市民及び事業者の日常的生活や事業活動に伴って発生する人に不快感や嫌悪感を与える騒音、悪臭及び光害（以下「感覚公害」という。）の防止に、市民、事業者及び市が協働して取り組んでいくための各々の責務を明らかにし、もって市民が求める快適な生活環境の創造に資することを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

(1) 快適な生活環境の創造 生活に潤いや安らぎを与えてくれる音・かおり・光並びにそれらを生み出す自然、伝統及び文化を保全し、及び将来にわたり維持していくとともに、日常生活の快適性を阻害する感覚公害を防止することをいう。

（市民の責務）

第3条 市民は、人間の感覚の個人差を尊重し、互いを思いやる気持ちを持ち、及びその日常生活に伴って生じる感覚公害により近隣の生活環境を損なうことのないよう相互に配慮し合いながら、快適な生活環境の創造に自ら努めなければならない。

2 市民は、市が実施する快適な生活環境の創造に関する施策に協力しなければならない。

(事業者の責務)

第4条 事業者は、その事業活動を行うに当たって、感覚公害の発生状況の把握及び近隣の住民との良好な関係の構築に努めるとともに、必要に応じて作業工程の改善その他の感覚公害の防止のために必要な措置を講じなければならない。

2 事業者は、市が実施する快適な生活環境の創造に関する施策に協力しなければならない。

(市の責務)

第5条 市は、快適な生活環境の創造に関する施策を策定し、並びに市民及び事業者と協働してこれを実施するとともに、自らが事業活動を行う場合においては、快適な生活環境の創造のために先導的な役割を果たすものとする。

2 市は、感覚公害の防止に関する知識の集積に努めるとともに、市民及び事業者が自主的に実施する感覚公害の防止に関する取組を促進するために必要な助言、技術指導及び意識啓発を行うものとする。

第2章 音・かおり・光に関する生活環境創造計画の策定

(策定及び公表)

第6条 市長は、快適な生活環境の創造を計画的に推進するため、その基本となる音・かおり・光に関する生活環境創造計画(以下「創造計画」という。)を策定しなければならない。

2 市長は、創造計画を策定するに当たっては、あらかじめ浜松市環境基本条例(平成10年浜松市条例第49号)第22条の規定により設置された浜松市環境審議会(以下「環境審議会」という。)の意見を聴くとともに、市民及び事業者の意見を反映するよう努めなければならない。

3 市長は、創造計画を策定したときは、速やかにこれを公表するとともに、快適な生活環境の創造のための事業の実施に努めなければならない。

第3章 音・かおり・光資源の選定

(資源の選定)

第7条 市長は、市内に存する音・かおり・光資源のうち、市民の生活及び文化に深く根付き、広く市民に親しまれ、将来にわたり継承すべきと認めるものを、浜松市音・かおり・光資源として選定することができる。



図4-8. 浜松市「音・かおり・光 環境創造事業」のマスコットキャラクター・ロゴマーク

(2) 大阪市「かおり環境マップ」

大阪市では、第II期「大阪市環境基本計画」における悪臭防止対策の今後の施策として、快適な「かおり環境づくり」に向けた検討を進めており、具体的な取組として、市内における自然の心地よい「かおり」や、歴史文化に関わる好ましい「かおり」に親しめる良好な環境の中から、市民からのアンケート結果や学識経験者等の意見を踏まえ、中之島公園(バラ園)をはじめ市内55ヶ所のスポットを選定した「おおさかかおり環境マップ」を作成した。このマップは市民の皆様への環境学習等に活用するため、6,000部作成し、大阪市立環境学習センター、各区保健福祉センター、ATCグリーンエコプラザで配布している。



図 4-9 . かおり環境マップ (大阪市)

【参考資料】表 4-10 . かおり樹木リスト

針葉樹中・高木(植栽適期は2月～4月)

番号	樹種	低・中・高木	地域適性
1	アリゾニカ ブルーアイス	中	全 国
2	マクロカルバ ゴールドクレスト	中	全 国
3	シネシシス スバルタン	中	全 国
4	スコプロールム ブルーヘブン	中	全 国
5	ブンゲンス ホープシー	高	1 2
6	オクキデンタリス ヨーロッパゴールド	中	全 国
7	オクキデンタリス スマラグ	中	全 国
8	オクキデンタリス グリーンコーン	中	全 国
9	ニオイヒバ	高	全 国
10	カヤ	高	全 国
11	ヒノキ	高	全 国
12	スギ	高	全 国

常緑広葉中・高木(植栽適期は3月～6月)

番号	樹種	低・中・高木	地域適性
1	サザンカ	中	3 2
2	クスノキ	高	3 2
3	ユズ	高	3 2
4	ミカン	中	3 2
5	フェジョア	中	3 2
6	キンカン	中	3 2
7	ゲッケイジュ	中	3 2
8	ネズミモチ	中	全 国
9	ホソバタイサンボク	高	3 2
10	カラタネオガタマ	中	3 2
11	ギンモクセイ	中	全 国
12	キンモクセイ	中	全 国
13	ヒイラギモクセイ	中	全 国
14	ヒイラギ	中	全 国

落葉広葉中・高木(植栽適期は2月～3月)

番号	樹種	低・中・高木	地域適性
1	カツラ	高	全 国
2	カリン	高	全 国
3	ロウバイ	中	全 国
4	リョウブ	高	全 国
5	アメリカリョウブ	中	全 国
6	エニシダ	中	全 国
7	アオダモ	高	全 国
8	クロモジ	中	全 国
9	コブシ	高	全 国
10	ワダスメモリー	高	全 国
11	シデコブシ	中	全 国
12	ハクモクレン	高	全 国
13	シモクレン	中	全 国
14	ニシキモクレン	高	全 国
15	オオヤマレンゲ	中	全 国
16	ウケザキオオヤマレンゲ	中	全 国

番号	樹種	低・中・高木	地域適性
17	リンゴ	高	全 国
18	アズ	高	全 国
19	ウメ	高	全 国
20	モモ	高	全 国
21	スモモ	高	全 国
22	ソメイヨシノ	高	全 国
23	オオシマザクラ	高	全 国
24	スルガダイニオイ	高	全 国
25	シズカ	高	全 国
26	エゴノキ	高	全 国
27	アカバナエゴノキ	高	全 国
28	ライラック	中	全 国
29	シナノキ	高	全 国
30	ボダイジュ	高	全 国
31	サンショウ	中	全 国

針葉樹低木(植栽適期は2月~4月)

番号	樹種	低・中・高木	地域適性
1	ブンゲンス グラウカ グロボーサ	低	1 2
2	オクキデンタリス ダニカ	低	全 国
3	オクキデンタリス ゴールデングローブ	低	全 国

常緑広葉低木(植栽適期は3月~6月)

番号	樹種	低・中・高木	地域適性
1	アベリア	低	全 国
2	ニオイバンマツリ	低	全 国
3	チンチョウゲ	低	全 国
4	クチナシ	低	3 2
5	オオヤエクチナシ	低	3 2
6	キソケイ	低	全 国
7	ラベンダー	低	全 国
8	ヒイラギナンテン	低	全 国
9	ヒイラギナンテン チャリティ	低	全 国
10	トベラ	低	3 2
11	シャリンバイ	低	3 2
12	シャクナゲ	低	全 国
13	ローズマリー	低	全 国
14	サルコッカ	低	全 国
15	ミヤマシキミ	低	全 国
16	チャ	低	3 2

落葉広葉低木(植栽適期は2月~3月)

番号	樹種	低・中・高木	地域適性
1	ブッドレア	低	全 国
2	メギ	低	全 国
3	ボケ	低	全 国
4	ニオイササミズキ	低	全 国
5	ヒメウツギ	低	全 国
6	ミツマタ	低	全 国
7	ミツマタ赤花	低	全 国
8	エクスバリーアザレア	低	全 国
9	エゾムラサキツツジ	低	全 国
10	モッコウバラ	低	全 国
11	キモッコウバラ	低	全 国
12	ハマナス	低	全 国
13	バラ(ブルームーン:紫)	低	全 国
14	バラ(ブルーリバー:紫)	低	全 国
15	バラ(ミスターリンカーン:濃赤)	低	全 国
16	バラ(オクラホマ:濃赤)	低	全 国
17	バラ(ホワイトクリスマス:白)	低	全 国
18	ガマズミ	低	全 国
19	ミヤマガマズミ	低	全 国

つる性類(植栽適期:常緑は3月~6月、落葉は2月~3月)

番号	樹種	低・中・高木	地域適性
1	アケビ	-	全 国
2	クレマチス アーマンディー	-	3 2
3	サネカズラ	-	全 国
4	スイカズラ	-	全 国
5	ツキヌキニンドウ	-	全 国
6	ムベ	-	全 国
7	テイカカズラ	-	全 国
8	フジ	-	全 国

(注)低木は概ね2m以下、高木は概ね10m以上、中木は概ね2m~10m

(注)地域適性は3区分とし、1は北海道、東北、2は関東、甲信越、中部、関西、3は中国、四国、九州としている。(3 2は、適性順で3の地域が高い)

出典) 社団法人 日本植木協会資料